



ほっとスペース流山 たより

〈生きづらさ包括支援・自主事業〉

No.03

発行：ほっとスペース流山 ☎090-3696-1589
 発行者：勝本 正實 2025年 4月 1日
 メールアドレス：cqj04465@ybb.ne.jp

☆ご挨拶



・ほっとスペース開設から、半年が経過しました

昨年九月末から自主事業として、「ほっとスペース流山」を開設して半年が経過しました。当初考えていたことと違っていたのは、「ショートステイ利用」の方が多いことです。二部屋の内、一部屋は予約による利用、もう一部屋は緊急による利用として、常時空き室にしています。利用される方は流山市に限らず、隣接市からおい

でなっています。期間は数日から一か月の宿泊と様々です。「憩いの場・交流の場」としての利用は十名程度から一名の利用まで受け入れています。なかには事情があつて事務所を使つてのテレワークをされた方もおられます。事務所は、「生きづらさを抱えた人」を支援する場ですので、一般の福祉事業所とは異なる利用も受け入れています。これからの思いがけない利用の仕方をされる方もおられるでしょう。

・四月末には、ホームページを開設します
 まだまだ、必要な方に周知が出

来ていません。チラシや対面での宣伝はしていますが、必要があつても出会える機会が限られています。そこで、「ホームページの開設」準備を当事者の方に手伝つていただいています。掲載する内容は決まっていますが、肝心のパソコンが年代物だったため、新しく準備しました。メーカーから届くの



☆現在開設中の集まり紹介

三月末までの段階で、すでに開設している定期的な集まりがありますので、現在の様子を紹介します。

① 発達障害者(グレーゾーンを含む)当事者の集まり

参加メンバーは八〜十人程度まで少しずつ増えています。飲み物とお菓子をつまみながら、ほっとスペースを会場に交流の時を持っています。年代は二十代から四十

代の方が中心ですが、高齢者の方も参加されています。すでに、オンラインでの参加環境(ズーム利用)を整えました。これからは、自宅からでも参加が可能です。希望される方は、携帯やパソコンからの参加もでき、住まいの地域も事情も障害とはなりません。集まりは、第四日曜日の午後一時からです。

② 精神障害を中心にした当事者の集まり

まだ初めて間もないため、参加者は五〜六人程度です。精神障害の方たちの中には、人間関係が苦手のため、友だち付き合いに苦労されている方が多くおられます。結果、一人でいることが多く、寂しさや孤独を感じて過ごされています。言うまでもなく、この集まりには、グレーゾーンの方も歓迎します。こうした人のために、「話せる場・仲間づくり」をお手伝いします。集まりは原則、第四火曜日の午後一時からです。もちろん、オンラインでの参加も可能となりますので、ご連絡をお願いいたします。アクセスコードをお知らせします。なお、平日仕事をされている方もあるため、月によつて



は開催日を「祝日」にすることがありますので、初めての方は事前に確認の電話やメールをお願いします。

③ 憩いの場としてのスペース提供開始



一人になってぼーっとしたい友だちを誘って周囲に気兼ねなく話をしたいなど・そんな希望にもお応えします。また、障害についての学び会やボランティアのサークルも利用可能です。携帯に空き状況を問い合わせてくださいと、翌日にでも利用が可能です。お菓子やお弁当持参でも大丈夫です。家や家族からしばらく離れて、気持ちを落ち着かせることでの利用が可能です。利用料は、一人百円(二時間程度)です。すでにこうした利用が始まっています。また、障害理解・生きづらさ関連などの貸出用の図書を三百冊ほど準備してあります。一か月の期間貸出しです。

④ ショートステイ利用が始まっています

宿泊を希望される方が、予測以上に多いことに驚いています。また、必要性が高かったのだとも思っています。予約の場合は、一日から

一週間程度宿泊可能です。事情があれば、最大一か月間受け入れてあります。台所もありますので、自分で調理もできます。DVの方も受け入れることを想定していますので、住所は明記していません。携帯に連絡して下さると、最初の時に近所のスーパーで待ち合わせて事務所に案内します。一泊は一五〇〇円です。利用上のお願い事は、印刷物が用意されていますので、お会いした時に説明します。

⑤ 昨年十二月から「おやじの会」が始まりました

障害者の家族会はどこも、お母さん方の参加が多く、お父さんは少ないのが現状です。しかし、決してお父さんは無関心なわけではありません。父親は父親なりの心配をしています。そこで、障害の内容を問わず父親だけの集まり「おやじの会」を始めています。現在、五、六人ほどの集まりです。お昼時間に参加しますので、各自弁当持参、それにアルコールも持ち込み可能です。一般の家族会とは一味違ったおやじの会にしたいと願っています。日中仕事をされている方も参加できるように、第一土曜日昼十二時から始めてい

ます。

☆今後開きたい集まり

ほっとスペース流山は、流山市民の方だけを対象としていません。柏市でも我孫子市でも野田市でも松戸市でも三郷市などでも、「生きづらさ」に悩む方を受け入れます。よって、「必要があればサークルを作る」ことを目指します。最初は一人から始まりますが、そのうちに数人となって行くことを目標とします。鍵の言葉は、「生きづらさ」を分かち合い、支え合うことです。一例を挙げると、

・「家族にひきこもりの状態の方」がいる、不安を持つ人の集まり

数年前から、ひきこもりの状態にある方たちを訪問しています。長くひきこもりの状態にあり、ご本人と家族の了解のもとに、月に一度一時間程度訪問しています。その支援はこれからも続きますが、これから始めたいと願っているのは、家族の方の交流の場の開設です。まだ、日程が決まっています。なので、関心を持ってもらえる方からの問い合わせに期待しています。



☆発達障害者家族会の「定例会」のご案内です！

毎月の定例会では、家族や本人も参加しての、交流会を中心にしており、それ以外にも、情報提供や日ごろの出来事からの質問を話し合っています。参加者は毎回二十名ほどです。

五月三十一日(土曜)の午後一時半には、初石公民館ホールで、CASの田熊立さんを迎えて、「発達障害とは？パートV」を予定しています。

※定期の集まりの紹介

・家族会 毎月第二土曜日から、初石公民館にて
・当事者会 毎月第四日曜日から、ほっとスペース流山にて・問い合わせ先 勝本

090-3696-1589

☆精神障害者家族会「流山よつば会」の案内

今の時代は、病気・障害のことをインターネットで検索もでき、行政の障害者福祉の窓口でも相談が出来ます。しかし顔を合わせて、それぞれの思いを分かち合うのが、家族会の良い点です。

・家族会 毎月第四金曜朝十時から、初石公民館にて